



家族へ、帰りたい。

私は貝になりたい

中居正広 仲間由紀恵

柴本 幸 西村雅彦 平田 満 マギー 加藤 翼 武田鉄矢
伊武雅刀 片岡愛之助 名高達男 武野功雄 六平直政 荒川良々
泉ピン子 浅野和之 金田明夫 山崎銀之丞 梶原 善 織本順吉
笑福亭鶴瓶 草彅 剛 上川隆也 石坂浩二

遺書・原作・題名：加藤哲太郎『狂える戦犯死刑囚』／脚本：橋本 忍／音楽：久石 譲／監督：福澤克雄 題字：原田圭泉

エグゼクティブプロデューサー：濱名一哉／プロデュース：瀬戸口克陽／プロデューサー：東 信弘 和田倉和利／ラインプロデューサー：梶川信幸
撮影：松島孝助／照明：木村太郎／録音：武 進／美術：清水 剛／編集：阿部互英／特撮監督：尾上克郎／衣裳デザイナー：黒澤和子
製作：TBS/東宝/J-dream/博報堂DYメディアパートナーズ/MBS/朝日新聞社/プロダクション尾木/CBC/TBSラジオ/TOKYO FM/RKB/HBC ほかにJNN全28局
制作プロダクション：シネバザール／配給：東宝 ©2008「私は貝になりたい」製作委員会 watashi-kai.jp (PC・モバイル共通)

物語

運命は豊松と家族とを二度引き裂く――

「戦犯容疑で逮捕します。」
豊松にとってその言葉は、まさに青天の霹靂だった。

清水豊松(中居正広)は高知の漁港町で、理髪店を開業していた。家族は女房の房江(仲間由紀恵)と一人息子の健一(加藤翼)。決して豊かではないが、家族三人理髪店でなんとか暮らしてゆく目鼻がついた矢先、戦争が激しさを増し豊松にも赤紙=召集令状が届く。豊松が配属されたのは、外地ではなく、本土防衛の為に編成された中部軍の部隊だったが、そこで彼は、思いもよらない過酷な命令を受ける。

終戦。……豊松は、やっとの思いで家族のもとに戻り、やがて二人目の子供を授かったことを知る。平和な生活が戻ってきたかに思えた。しかし、それもつかの間、突然やってきた

MP(ミタリーポリス)に、従軍中の事件の戦犯として逮捕されてしまう。そして待っていたのは、裁判の日々だった。

「自分は無実だ!」と主張する豊松。だが、占領軍による裁判では、旧日本軍で上官の命令がいかにか絶対であったか判事には理解されず、極めて重い判決が下る。妻の房江は船と列車を乗り継ぎ、遠く離れた豊松の元を訪れる。逮捕後に生まれた初めて見る娘の直子、妻・房江の泣きそうな顔。そして気丈にふるまう健一。豊松は「帰りたいなあ……みんなと一緒に土佐へ。」と涙を流し語りかける。無実を主張する豊松は、同房の囚人たちとアメリカの大統領に向けて減刑の嘆願を始めていた。やがて結ばれる講和条約で釈放される。誰もがその事に希望をつないでいた。一方、故郷の高知に戻った房江は、来る日も来る日も必死の思いで嘆願書の署名を集めるのだった。ただ、豊松の帰ってくる日を信じて……。

時代を超えて語り継がれるもの。

劇場内での映画の上映は終了です
www.elgakan.org 0120-550098



いい ふうふ
11月22日(土)東宝系ロードショー

フジTV前・アクアシティお台場
シネマメディアージュ
03(5531)7878
通常料金での全席指定・定員入替制
http://www.cinema-mediage.com



運命に 引き裂かれた 愛がある。



「私は貝になりたい」完全版ついに誕生

『七人の侍』をはじめ数々の黒澤明監督作品に参加した橋本忍の脚本で、昭和33年に制作されたドラマ「私は貝になりたい」。故フランク堺主演のこのドラマは、一兵士として戦争に巻き込まれた市民の悲劇と切なさを描き、放映とともに日本中を感動の涙で包み込んだ。あれから50年。ドラマ史に金字塔を打ち立てた名作を橋本忍自ら改訂した。今まで描ききれなかったという夫婦の愛の物語、また、二人が人生を過ごした日本の美しい季節描写など、様々な要素が書き加えられていった。そして、この秋、ついに決定稿となった完全版『私は貝になりたい』が、スクリーンに登場する。

深い感動を織りなす最高の俳優陣

徴兵、そして戦犯としての逮捕。時代に翻弄され、愛する家族と引き離される理髪店の主人・清水豊松には中居正広。妻の房江に、

仲間由紀恵。深く描かれることとなった夫婦の愛の物語は、この主演の二人を迎えてこそ確かなものになった。加えて、矢野中将役に石坂浩二、他に上川隆也、笑福亭鶴瓶、そして中居と同じSMAPより草彅剛が参加するなど、日本を代表する俳優が集結。豊松を取り巻く人々の複雑な思いを織りなし、ドラマに深く切ない余韻を与えている。

美しい日本の風景に彩られる切ない物語

「私は貝になりたい」という言葉を際立たせる美しい海、夫婦が歩んできた日々を彩る日本の四季。その風景を求めて、スタッフは日本の海岸線をほぼ一周したという。そんな妥協を許さない姿勢のもと、完全版のメガホンを取るのには、ドラマ「砂の器」「華麗なる一族」などの演出を手がけた福澤克雄。高知、山陰など、撮影は季節を巡り、ほぼ1年に及んだ。また音楽には、数々の映画音楽を手がける久石譲。壮大な映像と美しい音楽が響き合いながら、切ない物語を彩っていく。

